

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	伝統文化と環境福祉の専門学校
設置者名	学校法人国際総合学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	伝統建築学科 3年制	夜・通信	3360 時間	240 時間	
	伝統建築学科 4年制	夜・通信	4560 時間	320 時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://www.sado-nsg.com/disclosure/O5_jitsumu.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	伝統文化と環境福祉の専門学校
設置者名	学校法人国際総合学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

http://www.sado-nsg.com/disclosure/05_riji.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	団体職員	2019年6月 1日～2023 年5月31日	政策的観点
非常勤	会社役員	2019年6月 1日～2023 年5月31日	教育統括的観点
非常勤	大学教授	2019年6月 1日～2023 年5月31日	教育統括的観点
非常勤	団体職員	2020年3月 31日～2023 年5月31日	政策的観点
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	伝統文化と環境福祉の専門学校
設置者名	学校法人国際総合学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 授業計画の作成については、毎年9月に教育課程編成委員会を開催し、授業内容や到達目標について、委員会の意見を踏まえ、素案を学科内で作成する。教務部内にて、教育課程編成委員会の意見をもとに作成された学科案について、検討会議を行い、会議後、年度末の教育課程編成委員会を経て、次年度の授業計画を決定する。前年度2月までに作成を行い、3月にHPにて公表する。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>http://www.sado-nsg.com/disclosure/O5_syllabus_3.pdf</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学修成果の評価について、学則で定め、在校生には4月時に口頭および文書で公表している。 成績評価については、学年末において、各学期末に行う試験や実習の成果、履修状況等を総合的に勘案している。各学年において学則に定める授業時間数の80%以上に満たない者については、当該科目の成績評価を受けることができない。 成績評価は、シラバスの記載に従い、期末試験、提出課題、出席率、積極的な姿勢、確認テスト、ホームワーク状況、検定取得状況等の資料によって行う。 成績評価は100点満点換算で次の基準とし、A、B、C、Dの4段階で行い、A(100～80) B(79～70) C(69～60) D(59～0・不合格または未受験)で行う。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価は、学則で定め、在校生には4月時に口頭および文書で公表している。シラバスに記載した、評価基準で科目評価を行い、各科目の評価(100点満点換算)をもとに、科目の平均点、下位1/4の該当者数、数値を算出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の科目評価(100点満点換算)の総点数÷学生数=科目の平均点 <p>また、学則に記載の成績評価であるA, B, C, Dの4段階(A(100～80) B(79～70) C(69～60) D(59～0・不合格または未受験))で各成績評価の分布を示す。</p> <p>各科目で、成績評価でD評価、レポート、課題の未提出者は、再試験の対象となる。出席率が80%以下の者、再試験の結果D評価の者については、科目認定保留学生として、卒業・進級判定会議に召喚され、科目認定試験の受験を認めるかどうか、または留年となるかを判定する。科目認定試験の受験が認められた学生は、科目認定試験を受験できる。ただし、科目認定試験の合格者はその点数にかかわらずC評価となり、科目認定試験の不合格者は留年となる。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>http://www.sado-nsg.com/disclosure/O2_seiseki_bunpu.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業・進級要件については、学則で定め、在校生には4月時に口頭および文書で公表している。</p> <p>学科80%以上出席、成績評価がすべてC以上の学生を対象に、卒業・進級判定会議を行う。</p> <p>会議では、上記の出席情報、成績評価状況、資格取得状況(大工技能検定、PC検定、コミュニケーション検定)、内定状況、各科目担当講師からのコメント等をもとに、評価を行う。</p> <p>特に、業界の状況等を鑑み、社会人、職業人として、即戦力として活躍できるかという評価基準で卒業認定を行う。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>http://www.sado-nsg.com/disclosure/O2_seiseki_hyouka.pdf</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	伝統文化と環境福祉の専門学校
設置者名	学校法人国際総合学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.sado-nsg.com/disclosure/04_taisyaku.pdf
収支計算書又は損益計算書	http://www.sado-nsg.com/disclosure/04_syushi.pdf
財産目録	http://www.sado-nsg.com/disclosure/04_mokuroku.pdf
事業報告書	http://www.sado-nsg.com/disclosure/04_zigyou.pdf
監事による監査報告（書）	http://www.sado-nsg.com/disclosure/04_kanji.pdf

2. 教育活動に係る情報

①-1 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	伝統建築学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3540 単位時間/単位	570 単位 時間/単位	330 単位 時間/単位	2640 単位 時間/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3540 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		48人	1人	4人	6人	10人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画の作成については、毎年9月に教育課程編成委員会を開催し、授業内容や到達目標について、委員会の意見を踏まえ、素案を学科内で作成する。教務部内にて、教育課程編成委員会の意見をもとに作成された学科案について、検討会議を行い、会議後、年度末の教育課程編成委員会を経て、次年度の授業計画を決定する。前年度2月までに作成を行い、3月にHPにて公表する。
成績評価の基準・方法
（概要） 学修成果の評価について、学則で定め、在校生には4月時に口頭および文書で公表している。 成績評価については、学年末において、各学期末に行う試験や実習の成果、履修状況等を総合的に勘案している。各学年において学則に定める授業時間数の80%以上に

<p>満たない者については、当該科目の成績評価を受けることができない。 成績評価は、シラバスの記載に従い、期末試験、提出課題、出席率、積極的な姿勢、確認テスト、ホームワーク状況、検定取得状況等の資料によって行う。 成績評価は100点満点換算で次の基準とし、A、B、C、Dの4段階で行い、A（100～80） B（79～70） C（69～60） D（59～0・不合格または未受験）で行う。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要） 卒業・進級要件については、学則で定め、在校生には4月時に口頭および文書で公表している。 学科80%以上出席、成績評価がすべてC以上の学生を対象に、卒業・進級判定会議を行う。会議では、上記の出席情報、成績評価状況、資格取得状況（大工技能検定、PC検定、コミュニケーション検定）、内定状況、各科目担当講師からのコメント等をもとに、評価を行う。 特に、業界の状況等を鑑み、社会人、職業人として、即戦力として活躍できるかという評価基準で卒業認定を行う。</p>
<p>学修支援等</p> <p>（概要） クラス担任制、副担任制を導入し、学習についての相談、個別指導に対応している。就職については、就職相談室の設置、開放し、個別の就職指導に対応している。そのほか、カウンセラーの配置を行っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
22人 (100%)	人 (%)	22人 (100%)	人 (%)
<p>（主な就職、業界等） 建築業、大工、宮大工</p>			
<p>（就職指導内容） 就職対策授業の実施、校内ガイダンスの実施、求人票の公開、就職書類の添削、業界関係者を招聘しての特別講義</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等） 2級建築士受験資格、3級建築大工技能士、2級建築大工技能士、技能五輪全国大会</p>			
<p>（備考）（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
51人	1人	2%
<p>（中途退学の主な理由） 経済的理由</p>		

(中退防止・中退者支援のための取組)
 スクールカウンセラーの配置、担任制の導入、校内イベントの実施

①-2 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
工業		専門課程	伝統建築学科		○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 4740 単位時間/単位	開設している授業の種類			
	昼		講義	演習	実習	実験
4年			570 単位 時間/単位	330 単位 時間/単位	3840 単位 時間/単位	単位時間 /単位
			4740 単位時間/単位			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
50人		6人	0人	4人	6人	10人

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画の作成については、毎年9月に教育課程編成委員会を開催し、授業内容や到達目標について、委員会の意見を踏まえ、素案を学科内で作成する。教務部内にて、教育課程編成委員会の意見をもとに作成された学科案について、検討会議を行い、会議後、年度末の教育課程編成委員会を経て、次年度の授業計画を決定する。前年度2月までに作成を行い、3月にHPにて公表する。
成績評価の基準・方法
(概要) 学修成果の評価について、学則で定め、在校生には4月時に口頭および文書で公表している。 成績評価については、学年末において、各学期末に行う試験や実習の成果、履修状況等を総合的に勘案している。各学年において学則に定める授業時間数の80%以上に満たない者については、当該科目の成績評価を受けることができない。 成績評価は、シラバスの記載に従い、期末試験、提出課題、出席率、積極的な姿勢、確認テスト、ホームワーク状況、検定取得状況等の資料によって行う。 成績評価は100点満点換算で次の基準とし、A、B、C、Dの4段階で行い、A(100~80) B(79~70) C(69~60) D(59~0・不合格または未受験)で行う。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業・進級要件については、学則で定め、在校生には4月時に口頭および文書で公表している。 学科80%以上出席、成績評価がすべてC以上の学生を対象に、卒業・進級判定会議を行う。会議では、上記の出席情報、成績評価状況、資格取得状況(大工技能検定、PC検定、コミュニケーション検定)、内定状況、各科目担当講師からのコメント等をもとに、評価を行う。 特に、業界の状況等を鑑み、社会人、職業人として、即戦力として活躍できるかという評価基準で卒業認定を行う。
学修支援等

<p>(概要)</p> <p>クラス担任制、副担任制を導入し、学習についての相談、個別指導に対応している。就職については、就職相談室の設置、開放し、個別の就職指導に対応している。そのほか、カウンセラーの配置を行っている。</p>
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 建築業			
(就職指導内容) 就職対策授業の実施、校内ガイダンスの実施、求人票の公開、就職書類の添削、業界関係者を招聘しての特別講義			
(主な学修成果(資格・検定等)) 2級建築士受験資格、3級建築大工技能士、2級建築大工技能士、技能五輪全国大会			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) スクールカウンセラーの配置、担任制の導入、校内イベントの実施		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
伝統建築 3年制	100,000 円	540,000 円	370,000 円	
伝統建築 4年制	100,000 円	540,000 円	370,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.sado-nsg.com/disclosure/06_jiko_hyoka.pdf		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>学校関係者評価委員会 (定数2名、行政、業界関係者より選出) を設置し、学生、保護者からの学校関係者評価及び教職員の自己評価の結果をもとに、教育理念・目的・育成人材像、教育活動、学生支援等について評価を行う。評価にあたっては、優先順位をもうけ、適時改善を図り、教育活動、学校運営に反映させる。</p> <p>年度内に2回に開催し、学校自己評価をもとに、学校関係者評価を行う。</p> <p>学校自己評価での評価項目は、教育理念・目標、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生の受け入れ募集、財務、法令等の遵守、社会貢献・地域貢献である。このほか、業界、行政の委員の視点で学校評価を行う。</p> <p>評価結果は、副校長のもと学内会議に諮り、次年度の学校運営に反映させる。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
佐渡市	2020年7月1日～2021年3月31日	佐渡市
工務店	2020年7月1日～2021年3月31日	工務店
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.sado-nsg.com/disclosure/06_kankesya_hyoka.pdf		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

http://www.sado-nsg.com/disclosure/01_gaiyou.pdf